

柳沢地区の農業の将来の在り方を考える座談会を開催しました！ (人・農地プラン座談会)

令和4年12月21日(水)に、地域農業の未来設計図(人・農地プラン)を考えるため、柳沢区民会館で地域の方々を対象とする座談会を行いました。

座談会には24名の方が参加し、3グループに分かれ、地域農業の課題やそれを解決するためのアイデアについてワークショップ形式による話し合いを行い、その後リーダーから意見発表がありました。

時間の都合により、アイデアの話し合いができなかったグループもありましたが、今回の座談会で出た意見を抜粋してご紹介します。※一部、意見・グループ(分野)は統合、要約して表記しています。

意見グループ(分野)	出された意見(課題)	アイデア
農地に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・傾斜地の段差が大きく、区画が狭い ・害鳥獣被害が多い ・農道が狭くて畑に入れない ・耕作放棄地が増加している ・果樹中心で農地の集積が難しい ・貸す人、売る人が少ない(情報が少ない) ・畑地の面積が小さい ・山際から荒廃が進んでいる ・畑かんがあると農地が売れない 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の集積 ・不利条件を活かす
人に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・若い仲間がいない ・後継者がいない ・担い手が少ない ・家族内で話し合いができない ・お手伝いさんの確保が難しい ・集落の高齢化 ・若い人の都市部への流出 	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者仲間が若者を誘う ・生産法人化 ・通年雇用
品質・収入に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物の出来具合が不安定 ・農作物の価格が低い ・収入が少ない ・施設整備の負担が大きい 	<ul style="list-style-type: none"> ・倭ブランドをつくる ・品質を上げて自分で売る ・有機農業
農作業に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・傾斜地のため不便 ・女性のための労働環境が不足している ・農薬散布が多い ・作業場がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業 ・不耕起農業

- ・今後も座談会の開催を予定(日時未定)しております。地域の皆様のご参加をお待ちしています。
- ・地域の農地・農業を次世代に引き継ぐために、地域農業の未来設計図について一緒に考えましょう！

- 中野市経済部農業振興課農政係
課長：小林英哉 係長：長張幸一 担当：小林貴幸
- 中野市農業委員会事務局
局長：峰村昌志 担当：服部悠久夫
- 中野市農業委員会委員：堀米義徳
- 中野市農地利用最適化推進委員：佐々木忍、小林文雄

